

交流30周年を祝し記念植樹

永楽台地域交流30周年記念式典・文化祭

千葉県柏市の永楽台地域交流30周年記念式典および同地域の文化祭が10月15日から16日に行われ、目黒町長と五十嵐拓町議会議長などが出席しました。

15日に永楽台地域ふるさと協議会の主催による交流30周年記念式典が永楽台近隣センターで行われ、目黒町長は「これからも只見町と柏市との交流事業がさらに発展し継続していくよう願っています」と祝辞を述べました。表彰式では、30年にわたり当町と柏市の交流活動にご尽力いただいた

柏市の「鬼澤喜男」氏に只見町から感謝状と記念品が贈られ、永楽台地域ふるさと協議会からは、交流活動の先駆的な役割を果たされたとして、五十嵐拓町議会議長に感謝状が贈られました。また、交流30周年を祝し記念植樹も行われ、只見町の山桜2本が同センターの敷地内に植えられました。

16日は、毎年只見町が参加し物産販売やもちつき大会などを行う永楽台地域文化祭が開かれ、今年も只見町コーナーが大盛況でした。

この歴史ある交流事業が、今後も活発に続くことを期待したいと思います。



▲記念植樹をする目黒町長(左)

福祉乗合運行も12月にスタート

福祉送迎「いきいきバス」運行

福祉送迎「いきいきバス」の出発式が10月3日に只見スキー場駐車場で行われ、目黒町長はじめ関係者が出席しました。

この出発式は、今まで介護老人保健施設こぶし苑が運行していた同苑や木の葉、こまどりの利用者の送迎バス運行を、10月1日から株式会社社会津ただみ振興公社が只見町から委託を受け運行することになり行われました。目黒町長は、あいさつで

「二つの大きな時代の流れを感じた。人の命をあずかる仕事、気をつけて運行してください」と述べました。その後、安全祈願式があり、目黒町長や久保副町長らによるテープカットで、「いきいきバス」の送迎サービスがスタートしました。

なお、12月からは有料により車イスの方が利用できる福祉乗合運行も開始される予定です。



▲目黒町長(左から2人目)らによるテープカット



▲いきいきバスのサービスを受ける利用者

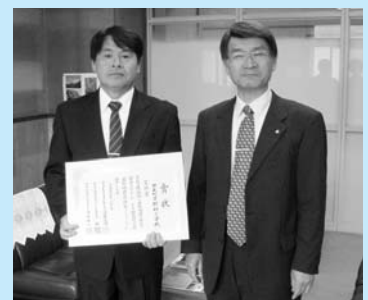
福島県学校歯科保健優良校表彰

明和小学校が

奨励賞受賞

福島県教育委員会などが主催する平成23年度福島県学校歯科保健優良校表彰(第55回よい歯の学校表彰)において、明和小学校が奨励賞を受賞しました。この表彰は、児童生徒に歯や口の健康について関心を持ってもらうことや、健康観を育成することを目指し、毎年行われています。明和小学校児童の歯を大切にする毎日の活動が評価された結果だと思います。

明和小学校の皆さん、おめでとうございます。いつまでも白い歯が印象的な笑顔を見せてください。



▲馬場永好 明和小校長(左)と齋藤修一教育長



▲生徒手づくりのフラッグ

只見中学校文化祭

只見中から只見町を元気に！

第5回只見中学校文化祭「紅葉祭」は「Restart」をテーマに10月15日、同校体育館などで行われました。東日本大震災や新潟・福島豪雨で福島県や只見町が被害を受けたなか、生徒全員で紅葉祭を成功させ、只見町を元気にしたい。という思いが込められたテーマです。紅葉祭は、開会行事で幕を開け、英語弁論発表や7月29日に発



▲美しい歌声が響いた合唱

生した大水害を経験しての思いなどを語った主張発表、合唱コンクールなどが午前中に行われ、学年別合唱にあわせ、特設合唱部の発表や全校合唱が披露され、どれも練習の成果が発揮された清らかで美しい歌声が響き渡り、詰めかけた方々を魅了していました。午後からは、各学年の教室とスペースを利用し総合学習で取り組んだことについて、1年生は会津若松市内自主研修、2年生は職場体験学習、3年生は修学旅行で学んだことを、クイズなどを織り交ぜ趣向を凝らし楽しく発表、大勢の保護者や家族、町民の方が集まり、大きな拍手を送っていました。体育館には生徒の学習成果が伝わる作品の数々が展示され、保護者などの目を引いていました。この日はPTAバザーや模擬店も開かれ、賑わいを見せていました。テーマに込められた思いのとおりに、生徒みんなで力を合わせて、一生懸命頑張ったすばらしい紅葉祭でした。来場された町民の方も元気を取り戻したと思います。

町内小学校学習発表会

一生懸命な姿に感動の拍手

10月22日に只見小学校で、30日に朝日小学校で、11月6日には明和小学校で学習発表会が行われ、保護者や家族、地域の方が大勢詰めかけました。

各学校それぞれに、1年生から6年生のユーモアあふれる劇や昔語り、息の合った合奏、心一つに精一杯声を出した全校合唱などが次々と披露されました。何事にも一生懸命取り組む児童の姿に、来場された方々からは感動の拍手が送られました。児童からは「友だちと協力する大切さを学びました。今日まで一生懸命練習してきました。観てくださってありがとうございます。」

ました」と最後に感謝の言葉がありました。



▲朝日小学校の全員合唱

人権擁護委員に

菅家達朗さん



平成23年10月1日付けで菅家達朗さん(黒谷)が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、菅家さんのほかに藤田節子さん(只見)、山内妙子さん(梁取)も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。